



# いわき市立大野中学校

## 学校だより 第3号

令和 2年 7月30日 (木)  
発行責任者：校長 田中 淳一  
TEL：0246-33-2233

教育目標：自立と貢献 ～「問い」を発する生徒の育成～

育成を目指す資質・能力：自己マネジメント力×協働する力×探究する力

### 1学期を終えて

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業が終了し、6月の学校再開から2か月が経ちました。「ウイルスの感染拡大がなければ・・・」と呟きたくなることもあります。過去は変わらないし、未来のことは誰にも分かりません。これからも心配なことはありますが、今日の前にあって、自分ができることにコツコツと取り組むことが、自分らしく生き生きと過ごすためには大切ではないでしょうか。



さて、先月、全校生を対象に行ったアンケート調査によれば、「学校に行くのは楽しいと思う。」という質問に対して、否定的な回答をした生徒が約38%いました。校長としては責任を感じている次第です。個々の理由までは尋ねていませんが、私としましては、学校を「ほっとできる場」にしていくことが重要だと考えています。大人も子どもも、もっと「上機嫌」でいられる環境を築きたい。なぜなら、不機嫌では、想像力も知性も働かないからです。ネガティブな心の動きは、思考力や判断力など全てを狂わせます。人間は機嫌よくしていないと、危機の時を生き延びることはできません。また、機嫌のよい人でなければ、幸せな未来は築けないと思います。

実のところ、人間は、機嫌がよいと複雑化し、自由になり、成熟します。生物を見てください。単細胞の生物が細胞分裂して、どんどん複雑なものに変わっていく。それが成長であり、進化であります。人間だって同じです。成長するにつれて、どんどん複雑な生き物になっていきます。考え方が深まり、心の髪がきめ細やかになり、語彙が豊かになり、判断が変わり、ふるまいや行動が変わる。そういうものではないでしょうか。だから、学校の目的は、子どもたちをもっと複雑な人間に成長・成熟させることにあると言えます。

そこで、本校を「ほっとできる場」、みんなが「気分よく」いられる環境にするために、教職員も生徒も、何らかのアプローチをしていくことが必要です。中国の古典『三国志』には、「士別れて三日なれば、即ち更に刮目して相待すべし」(努力している者は、三日経つと別人になっている。だから、次に会うときには、目を大きく見開いてその人を見よ。)という言葉があります。「成長する、成熟する」とは、変化することです。三日前とは別人になることです。人をして刮目せしめるような生き方が、誰でも気分よくできる、そんな学校や社会を築いていくことが求められているのではないのでしょうか。



1学期の終業式では、「成長、成熟」するために、「自分の心と直感に従う勇気を持って行動してほしい。」と全校生に伝えました。生徒たちが今後やりたいことがあれば、全面的に支援していくつもりです。

今年の夏休みは24日間と短いですが、一人一人が自他の命を大切に、成長できるよう期待しています。2学期も、保護者や地域の皆様のご理解とご支援を宜しくお願いいたします。

## 授業参観と学年懇談会

本校では、目の前の生徒の姿から、目指す生徒の姿を改めて検討し、設定し直しました。その結果、『問い』を発する生徒の育成（問題を発見し、他者との関わりを通して主体的に問題を解決していく生徒の育成）」としました。



7月11日（土）には、今年度初めての授業参観を実施しました。『問い』を発する生徒」を育成するための授業改善は緒に就いたばかりです。今後もできる限り、授業を参観していただく機会を設け、ご意見をいただきたいと思っております。また、授業参観に続いて、学年懇談会を実施しました。このような機会を通じて、「学校、家庭、地域社会が共に『私たちの学校』を創っていく」、そのような関係づくりができるようにしたいと思います。

## PTA奉仕作業

6月13日（土）は、PTA奉仕作業でした。保護者の皆さんには、今年もプール掃除をお願いしました。あいにくの雨模様、しかも水が出ないというトラブルに見舞われましたが、作業は予定どおりに終わることができました。また、駒込地区や薬王寺地区から高圧洗浄機や発電機、貯水タンクをお借りしたことで、作業を円滑かつ効率的に進めることができました。プールの授業も、7月末まで各学年10時間程度行うことができました。ご協力いただきました関係の皆様には、衷心より感謝申し上げます。



## キャリア教育

7月2日（木）、キャリア教育（一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育むこと）の一環として、3年生は進路学習を行いました。生徒たちは、様々な資料や情報にアクセスし、進学したいと考えている上級学校について調べ、その成果を新聞にまとめました。臨時休業もあって、進路学習の時間がなかなかとれなかった3年生にとっては、有意義な機会となりました。



また、1・2年生については、大野水耕さん、磐植さんのご協力をいただいて、職場体験を実施することができました。わずか1日の体験活動でしたが、社会に出て仕事をするために必要な資質・能力について、また、今後どんなことを大切にしていけばいいのかなどを考えることができたようです。



このような状況の中、職場体験を引き受けていただいた皆様には、心より感謝申し上げます。



本校生徒の活動の様子等をアップしています。ぜひご覧ください！